



小林功さん

～ルール随筆～

湯野の農業を守る ～我が家の農業～

我が家の農業についてという事ですが、今私は、お米、小麦、ストレスをかけることで甘くなるトマト、見た目は何コレ？となるジャガイモ、サツマイモを栽培しています。

私は農作業をするにあたり、次の3つのことを心掛けています。

1. スマートに楽しく農作業をすること
2. 農業機械は使うもの、使われないこと
3. 他人前では「えらい」等愚痴を極力言わないこと

通常私は一人で作業していますが、その日の体調・気分で作業内容を変更し気楽に作業を楽しんでいます。楽しんで作業すれば効率も上がり、見た目もスマート？（体型ではないぞ）です。又、機械の持つ能力をフルに引き出し機械と対話しながら使えば楽しく快調に効率的な作業が行えると思い実践しています。そして、折角楽しくスマートな農作業しているので、他人前で「えらい」とか言ったら、「馬鹿じゃね一人でやるからいね」等色々な反応が予想されます。やっていることを自ら否定することにもなります。だから言わないことを心掛けています。誰にも言えないけど、気の置けない同級生にはちょこっと本音が出てしまいます。同じ思いをして米を作っているから理解してくれていると思っています。

しかしながら、自分たちはこうして楽しく？やっていますが、後継者はいるのでしょうか？ 私は後何年農作業が出来るのか？と考えると不安です。しかし、まだ動けます。同級生も頑張っています。お互い情報交換をしっかりして米作りに精を出さなければなりません。が、本当はカツオやマグロのように動いていなければ生きて行けないのかも知れません。（笑）

今年は新型コロナウイルスの感染拡大で世の中が変わってしまいました。米作りも今秋は新型コロナウイルス以上にトビイロウンカで目を覆わんばかりのひどい状況になっています。気が滅入ってしまいますが、来年こそはウンカ対策もキッチリして良い米を作ろうと思います。「百姓の来年」かな？

次回は松田 茂男さんです。



樋ノ口にある供養塔

ウンカ大被害！！

『湯野郷土誌』によると、享保17年（1732年）ウンカらしい大害虫被害があり、餓死者が大勢出たとのこと。当時の山口県の人口約56万人のうち約27万人余りの方が亡くなられたそうです。樋ノ口にある供養塔は享保飢饉の時の餓死者の供養塔です。

湯野市民センター からのお知らせ

【発行元】湯野市民センター（周南市大字湯野 4230-1） ☎：83-2002 ✉：yuno-ko@city.shunan.lg.jp

市民センター講座をご紹介します！

気になる講座がある方は湯野市民センターまでお気軽にお問い合わせください！

■ だいから踊り保存会

- 活動日時： 毎週（木）19～20時
- 活動内容： 踊りの練習
- 費用： なし



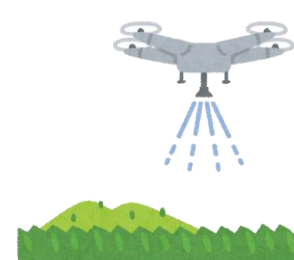
◎ 代表者よりひとこと

『だいから踊り保存会に入会したのに、なんにもせんのもんじゃね。』

その言葉に触発され、とにかく体を動かそうと9月から集まっています。だいから踊りや東京2020音頭など、楽しく踊っております。皆さん楽しい汗をかきませんか？老若男女問いません!!お待ちしております!!

ドローン導入で農薬散布を楽に!!

スマート農業の一環として夏場の過酷な農薬散布作業にドローンを導入しました。



一回当たりのフライト

が7分程度で約4反分の散布が可能です。飛行ルートと散布量はリアルタイムにタブレットに

表示されます。



大下 裕さん

今後、高齢化の進む地域でお役に立てればと思っています。興味のある方は是非お気軽に声をかけてください!!

かがみつくり体験

令和2年8月7日、湯野小児童クラブで市民センター講座「かがみをつくろう」を開催しました。金属を熱して液状に溶かし、鋳型に流し込んで固めたのち、かがみになるまでやすりで磨きあげて仕上げる、古代のかがみの鋳造体験です。

夜市市民センターの清水主事の指導のもと、子どもたちは時間を忘れるほど集中してかがみをや



すりで磨き上げ素晴らしい作品が出来上がりました。

